

**Pioneer**



# *RS-A09x*

OPTICAL DIGITAL REFERENCE SYSTEM  
BRIDGEABLE TWO-CHANNEL POWER AMPLIFIER

**carrozeria***x*



オプティカル デジタル リファレンス システム  
ブリッジャブル 2チャンネル パワーアンプ

# RS-A09X

## 取扱説明書



このたびはカロツェリア X シリーズ  
ODR システムをお買い上げいただき  
まことにありがとうございます。

ご使用になる前に、この説明書を必ずお読みください。  
お読みになった後は、後日お役に立つこともありますので  
保証書と一緒に大切に保管してください。




# 安全上のご注意 (安全にお使いいただくために必ずお守りください)

あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、必ずお守りいただくことを説明しています。

■ 表示内容を無視して、誤った使いかたをしたときにおよぼす危害や損害の程度を次の表示で区分し、説明しています。


	<b>警告</b>	「人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容」です。
	<b>注意</b>	「人が軽傷を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容」です。


■ お守りいただく内容の種類を次の絵表示で区分し、説明しています。

	注意 (警告を含む) しなければならない内容です。		必ず行っていただく強制の内容です。
	禁止 (やってはいけないこと) の内容です。		

AU-001-002

## 接続・取り付け

 **警告**



禁止


本機は、DC12V⊖アース車専用です24V車で使用しないでください。火災や故障の原因となります。


**エアバッグの動作を妨げる場所には、絶対に取り付けと配線をしない**  
エアバッグ装着車に取り付ける場合は、車両メーカーに作業上の注意事項を確認してください。エアバッグが誤動作し、死亡事故の原因となります。

**前方視界や運転操作を妨げる場所、同乗者に危険を及ぼす場所には絶対に取り付けない**  
交通事故やケガの原因となります。

**電源コードの被覆を切って、ほかの機器の電源を取らない**  
電源コードの電流容量がオーバーすると、火災や感電、故障の原因となります。


**取り付けには保安部品 (ステアリング、ブレーキ、タンクなど) のボルトやナットは絶対不使用しない**  
これらを使用すると、制動不能や発火、交通事故の原因となります。

 **警告**



禁止

**アンテナは、保安基準に適合しない場所に貼り付けたり、再貼り付けや汎用の両面テープで貼り付けたりしない**  
視界不良やアンテナがはがれて、事故の原因となります。



強制

**取付・配線、取付場所の変更は、安全のため必ず販売店に依頼する**  
取付・配線や取り外しには、専門技術と経験が必要です。誤った取り付けや配線、取り外しをした場合、車に重大な支障をきたす場合があります。また、お客様ご自身による取付・配線は、ケガの原因となります。

**作業前はバッテリーの⊖端子を外す**  
⊕と⊖経路のショートにより、感電やケガの原因となります。

**作業前に、パイプ類、タンク、電気配線などの位置を確認する**  
車体に穴を開けて取り付ける場合は、パイプ類・タンク・電気配線などに干渉・接触しないように注意してください。また、加工部のサビ止めや浸水防止の処置を行ってください。



## 警告



強制

**必ず付属の部品を使用し、確実に固定する**

付属の部品以外を使用すると、機器内部の部品を損傷したり、しっかりと固定できず外れて運転の妨げとなり、事故やケガの原因となります。

**説明書に従って接続・取り付けする**  
説明書に従わずに接続・取り付けを行うと、火災や故障の原因となります。

**コードの被覆がない部分はテープなどで絶縁する**

ショートにより、火災や感電、故障の原因となります。

**車体やネジ部分、シートレールなどの可動部にコードを挟み込まないように配線する**

断線やショートにより、火災や感電、故障の原因となります。

**コード類は運転操作の妨げとならないように固定する**

ステアリングやセレクトレバー、ブレーキペダルなどに巻き付くと、事故の原因となります。

**取り付けと配線が終わったら、電装品が元通り正常に動作するか確認する**

正常に動作しない状態で使用すると、火災や感電、交通事故の原因となります。

**ねじなどの小物部品は、乳幼児の手の届かないところに保管する**

誤って飲み込んだ場合は、ただちに医師に相談してください。



## 注意



禁止

**コード類の配線は、車体の高温部に接触させない**

火災や感電の原因となることがあります。

**製品同梱の電源リード線は、バッテリーに直接接続しない**

火災や感電の原因となることがあります。電流が不足して、バッテリーから直接電源を取る場合は、専用の配線キットを使用してください。

**分岐配線をしない**

ケーブルが加熱して、火災・感電の原因となることがあります。

**雨が吹き込む所や水や結露、ほこり、油煙などが混入するところには取り付けない**

発煙や発火、故障の原因となることがあります。



強制

**コードが金属部に触れないように配線する**

金属部に接触するとコードが破損して、火災や感電、故障の原因となることがあります。

**アンテナやカメラは車幅や車の前後からはみ出さない場所に取り付ける**  
歩行者などに接触して、思わぬ事故の原因となることがあります。

**アンテナコード等を車内に引き込む際は、雨水の浸入に注意する**

雨水が車内に浸入すると、火災や感電の原因となることがあります。

## 使用方法



## 注意



禁止

**直射日光やヒーターの熱風が直接当たる場所に取り付けない**

内部温度が上昇し、火災や故障の原因となることがあります。

**アンテナやモニターを不安定なところに取り付けない**

落下などの原因となることがあります。

**通風口や放熱板をふさがない**

内部に熱がこもり、火災や故障の原因となることがあります。

**コード類は絶対に途中で切断しない**

コード類にはヒューズがついている場合があるため、保護回路が働かなくなり、火災の原因となることがあります。



## 警告



禁止

**運転者は走行中に操作をしない**

前方不注意となり交通事故の原因となります。必ず安全な場所に停車してから操作してください。

**メディア挿入口に手や指、異物を入れない**

ケガや感電、火災や故障の原因となります。

**液体で濡らさない**

発煙・発火・感電の原因となります。特にお子様のいるご家庭ではご注意ください。

**リモコンなどを放置しない**

停車した時やカーブを曲がるときに、リモコンなどが足もとに転がり、ブレーキペダルなどの下に入り込むと運転の妨げになり、交通事故の原因となります。

## 警告



禁止

画面が映らない、音が出ない、音声  
が割れる、歪むなどの異常・故障  
状態で使用しない

思わぬ事故や火災、感電の原因となります。



接触禁止

雷が鳴り出したら、アンテナコー  
ドや本機に触れない

落雷による感電の危険性があります。



分解禁止

分解や改造をしない

交通事故や火災、感電の原因となります。



強制

ヒューズを交換するときは、必ず  
規定容量 (アンペア) のヒューズを  
使用する

規定容量を超えるヒューズを使用すると、火  
災や故障の原因となります。

## 注意



禁止

本機は車載用以外で使用しない

発煙や発火、感電やケガの原因となること  
があります。

アンプの放熱部に手を触れない

やけどの原因となることがあります。



強制

音量は、車外の音が聞こえる程度  
で使用する

車外の音が聞こえない状態で運転すると、交  
通事故の原因となることがあります。



指のケガに  
注意

モニターの収納や角度調整時に手  
や指を挟まれないように注意する

ケガの原因となることがあります。

## 電池は正しく使う

## 警告



強制

事故防止のため、電池は幼児の手  
の届かない場所に保管する

万一、お子様が飲み込んだ場合は、ただちに  
医師の治療を受けてください。

電池の極性 (⊕、⊖) に注意し、表  
示通りに入れる

電池の極性を間違えると、破裂、液漏れなど  
により、ケガや周囲を汚染する原因となるこ  
とがあります。

## 警告



強制

電池の液漏れが発生した場合は

皮膚や衣服に付着した時は、きれいな水で洗  
い流してください。目に入った時は、きれい  
な水で洗ったあと、ただちに医師にご相談く  
ださい。

## 注意



禁止

電池をショートさせたり、分解・加  
熱をしたり、火や水の中に入れてない  
電池の破裂や液漏れにより、火災やケガの原  
因となることがあります。

乾電池は充電しない

電池の破裂により、ケガの原因となること  
があります。

指定以外の電池の使用や、新しい電  
池と古い電池を混ぜて使用しない

電池の破裂、液漏れにより、ケガや周囲を汚  
染する原因となることがあります。



強制

使いきった電池はすぐに交換する

液漏れにより、周囲を汚染する原因となるこ  
とがあります。

リモコンは、直射日光・高温・多  
湿の場所を避けて保管する

ケースの変形、内部電池の破裂や液漏れの原  
因となることがあります。

## 異常時の問い合わせ

## 警告



強制

万一異常が起きた場合は、直ちに  
使用を中止し、必ず販売店かサー  
ビス相談窓口にご相談する

そのまま使用すると、思わぬ事故や火災、感  
電の原因となります。

## 目次

○	安全上のご注意.....	4	取り付けかた .....	18	○
	お客様登録のお願い.....	7	取り付け上のご注意.....	18	
	安全のために .....	8	取り付けのポイント.....	18	
	各部のなまえと使いかた .....	10	取り付け .....	19	
	接続のしかた .....	12	端子カバーの取り付け .....	19	
	接続図.....	12	バッジの向きの変更.....	19	
	システム構成例.....	13	故障かな?と思ったら.....	20	
	スピーカーと		保証書とアフターサービス .....	21	
	RCA オーディオケーブルの接続.....	14	仕様.....	22	
	電源端子の接続.....	17			

## お客様登録のお願い

製品に関する情報をお知らせするために、お客様登録をお願いします。登録は弊社ホームページにて可能です。下記 URL にアクセスして登録を行ってください。

<http://pioneer.jp/support/members/>

なお、登録時に保証書に記載されている内容が必要になりますので、保証書をお手元にご用意ください。弊社からの本製品の安全に関する重要なお知らせは、お客様登録をさせていただいたお客様にいたします。必ず登録をしていただきますようお願いいたします。

## 安全のために



### 感電事故を防止するために

- ◆ 濡れた手では本機を触らないでください。感電する恐れがあります。また、本機が濡れているときも触らないでください。



### 音量は控えめに

- ◆ 運転中の音量は、車外の音が聞こえる程度でご使用ください。車外の音が聞こえない状態で運転すると、事故の原因となることがあります。



### 本機の温度に注意してください

- ◆ ODR システムの使用後 10 分程度は、本機が高温になりますので、次のことにご注意ください。
  - \* 本機に直接触れないでください。やけどをする恐れがあります。
  - \* 熱に弱い物（例：ビニール製品）を近づけないでください。変形する恐れがあります。
  - \* 本機の放熱効果が損なわれるため、本機の前左右および上には絶対に物を置かないでください。



### 安全にご使用いただくために

- ◆ ヒューズを交換するときは、必ず表示された規定容量（アンペア数）のヒューズをご使用ください。規定容量を超えるヒューズを使用すると、火災の原因となります。（バッテリーパワーコードのヒューズは 40 A × 2 で、本体のヒューズは 25 A × 2 です。）
- ◆ 本機およびスピーカーの故障を防止するため、本機に異常が発生すると、保護回路が働き本機が OFF になります（音が出なくなります）。このようなときはシステムの電源を切り、電源およびスピーカーの配線をチェックし、保護回路が働いた原因を解決してください。
- ◆ ヒューズが切れた原因や保護回路が働いた原因がわからないときは、お買い上げの販売店にご相談ください。



### 接続・取り付けに関するご注意

- ◆ 接続／取り付けの作業前は、必ずバッテリーの⊖端子を外してください。ショート事故による感電やケガの原因となります。
- ◆ 本機の放熱効果を損なわないように、次のことに注意して取り付けてください。
  - \* 本機の前左右および上部には十分なスペースをあけ、通風を良くしてください。
  - \* フロアマットやカーペットなどで本機を覆わないでください。
- ◆ 本機は必ず平らな場所に取り付けてください。平らでない場所や突起物の上には取り付けしないでください。故障の原因となります。
- ◆ 本機を取り付ける際は、ネジなどの部品を挟み込まないように注意してください。故障の原因となります。
- ◆ 車体に穴をあけて取り付ける場合は、パイプ類／タンク／電気配線などの位置を確認のうえ、これらと干渉や接触することがないように注意して行ってください。火災の原因となります。
- ◆ ショート事故防止のため、端子やコードが足や荷物に当たらないように設置してください。



### バッテリーあがりを防止するため

- ◆ 車のエンジン停止中や 5 分以上のアイドリング中は、ODR システムを使用しないでください。（システムの電源を OFF にしてください。）
- ◆ 車のバッテリーが消耗している場合は、ODR システムを使用しないでください。
- ★ ODR システムコントロールチューナー「RS-D7X Ⅲ」（別売）は、バッテリーからの供給電圧をチェックしており、現在供給されている電圧が 10 V 未満になったときは、ディスプレイ上に「\_\_\_ Volt」と表示されます。このような表示になった場合は、バッテリーが充電されるまでの間、本システムの電源を OFF にしてください。





## 接続上のご注意

- ◆ 本機の電源は、必ず RD-228 (別売) のバッテリーパワーコード (赤) を使用して、車のバッテリーに直接接続してください。また、アースは RD-228 (別売) のアースコード (黒) を使用して、車のボディに直接接続してください。(RD-228 (別売) のバッテリーパワーコードとアースコードは、本機を安全に接続できるように設計されています。)
- ◆ 芯線をむき出したままのコードを、本機の電源端子 (パワー端子、アース端子、システムリモートコントロール入力端子) に接続しないでください。芯線が外れたり切れたりして、発火やショートの原因となります。
- ◆ コードを接続した端子ネジは、時間がたつと緩むことがあります。端子ネジが緩んでいないか定期的に点検してください。また、必要に応じて端子ネジを締め直してください。
- ◆ ODR システムの電源を ON にしたままで長時間アイドリングを行っていると、バッテリーがあがる恐れがあります。アイドリング中は ODR システムの電源を OFF にしてください。
- ◆ 接続しない端子は金属部に触れないように、端子を絶縁テープなどで覆ってください。

- ◆ RD-228 (別売) の青 / 白リード線 (システムリモートコントロール) を、エンジンスイッチを ON または ACC の位置にしたときに電源が供給される電源回路に接続する場合、ODR システムの電源を OFF にしても、本機の電源は OFF になりません。この状態のまま長時間アイドリングを行っていると、バッテリーがあがる恐れがあります。
- ◆ スピーカーのリード線を車のボディに直接アースしたり、複数のスピーカーの ⊖ 側リード線を共通にして接続しないでください。音が出ないことがあります。また、この状態でボリュームを上げると、本機のヒューズが切れる恐れがあります。
- ◆ 本システムの動作中にスピーカーなどの接続を変更しないでください。

## ノイズ防止のために

- ◆ バッテリーパワーコード (赤) は、スピーカーコードからできるだけ離して取り付け、配置してください。また、バッテリーパワーコード、アースコード、スピーカーコード、および本機は、アンテナ、アンテナコード、カーステレオ、およびナビゲーションユニットからできるだけ離して取り付け、配置してください。

## アースコードの接続について

- ◆ アースコードを確実に接続するため、塗装されている部分に接続する場合は、サンドペーパーなどで塗装をはがしてから接続してください。
- ◆ アースコードは必ず最初に車のボディの金属部に確実に接続してください。

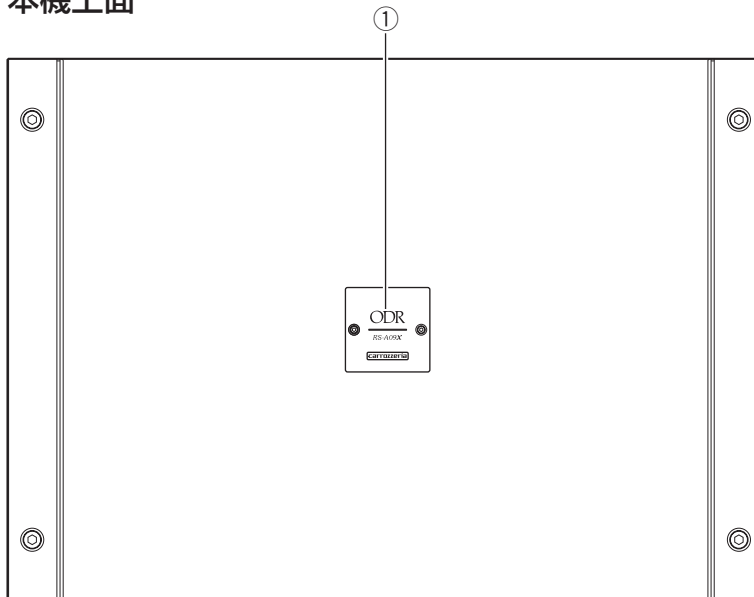


本機と組み合わせるスピーカーは、次の規格のものを使用してください。規格以外のスピーカーのご使用は、発火・発煙・破損の原因となります。なお、インピーダンスが 2 Ω から 8 Ω (ブリッジ接続の場合は 4 Ω から 8 Ω) のスピーカーを使用してください。

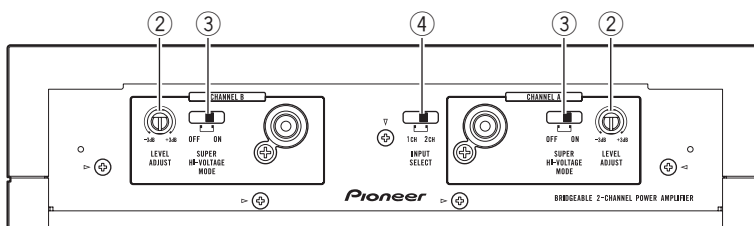
スピーカー		規格 (耐入力)
チャンネル	種類	
2 チャンネル	サブウーファー	定格入力 100 W 以上
	サブウーファー以外	最大入力 200 W 以上
1 チャンネル	サブウーファー	定格入力 300 W 以上
	サブウーファー以外	最大入力 600 W 以上

# 各部のなまえと使いかた

本機上面



本機左面



## ① パワーインジケータ

本機に電源が入ると点灯します。

## ② レベルアジャスト

チャンネルごとの入力レベルを調整して、各チャンネルの入力レベルを合わせます。

チャンネル A (CHANNEL A) 用・チャンネル B (CHANNEL B) 用にそれぞれ独立しています。

レベルを上げる場合は、レベルアジャストを右側に回してください。

また、レベルを下げる場合は、レベルアジャストを左側に回してください。

- ◆ スピーカーをブリッジ接続する場合は、ブリッジ接続したチャンネルのツマミを同じ位置に合わせてください。
- ◆ 出力レベルの高いカーステレオと接続し、ボリュームを上げたときに歪みを感じる場合は、カーステレオのボリュームを下げて調整してください。

## ■ レベルアジャストの設定

- ◆ この製品には、過大出力、誤配線、および誤使用などから本機やスピーカーを保護する機能があります。
- ◆ この保護機能により、大音量で音楽を再生しているときに、数秒間音声が入切れることがあります。ただし、メインユニットのボリュームを下げたときに、音声が入切れず再生される場合は故障ではありません。
- ◆ 音声が入切れて再生される場合は、メインユニットの出力レベルとアンプの入力レベルが合っていない可能性があります。このときは、次の操作を行ってください。
  - ・ メインユニットの最大プリアウトレベルに合わせて「レベルアジャスト」を左方向に回すことで、出力をコントロールできます。



- ◆ 次の場合は、最寄りの修理受付センターにお問い合わせください。
  - ・ メインユニットのボリュームを下げて音が入切れる
  - ・ アンプの「レベルアジャスト」を正しい位置に調整しても音が入切れる
- ◆ アンプのレベルアジャストを必要以上に上げても、出力される音声レベルは変わりません。ただし、音声の歪みが増加します。
- ◆ 過大な出力によって波形に歪みが生じている場合は、アンプのレベルアジャストを上げても、出力される音声レベルは変わりません。

## ③ スーパーハイボルテージモードスイッチ

本機をユニバーサルデジタルプリアンプ RS-P99X (別売) と接続したときは、スーパーハイボルテージモードスイッチを ON に切り換えてください。

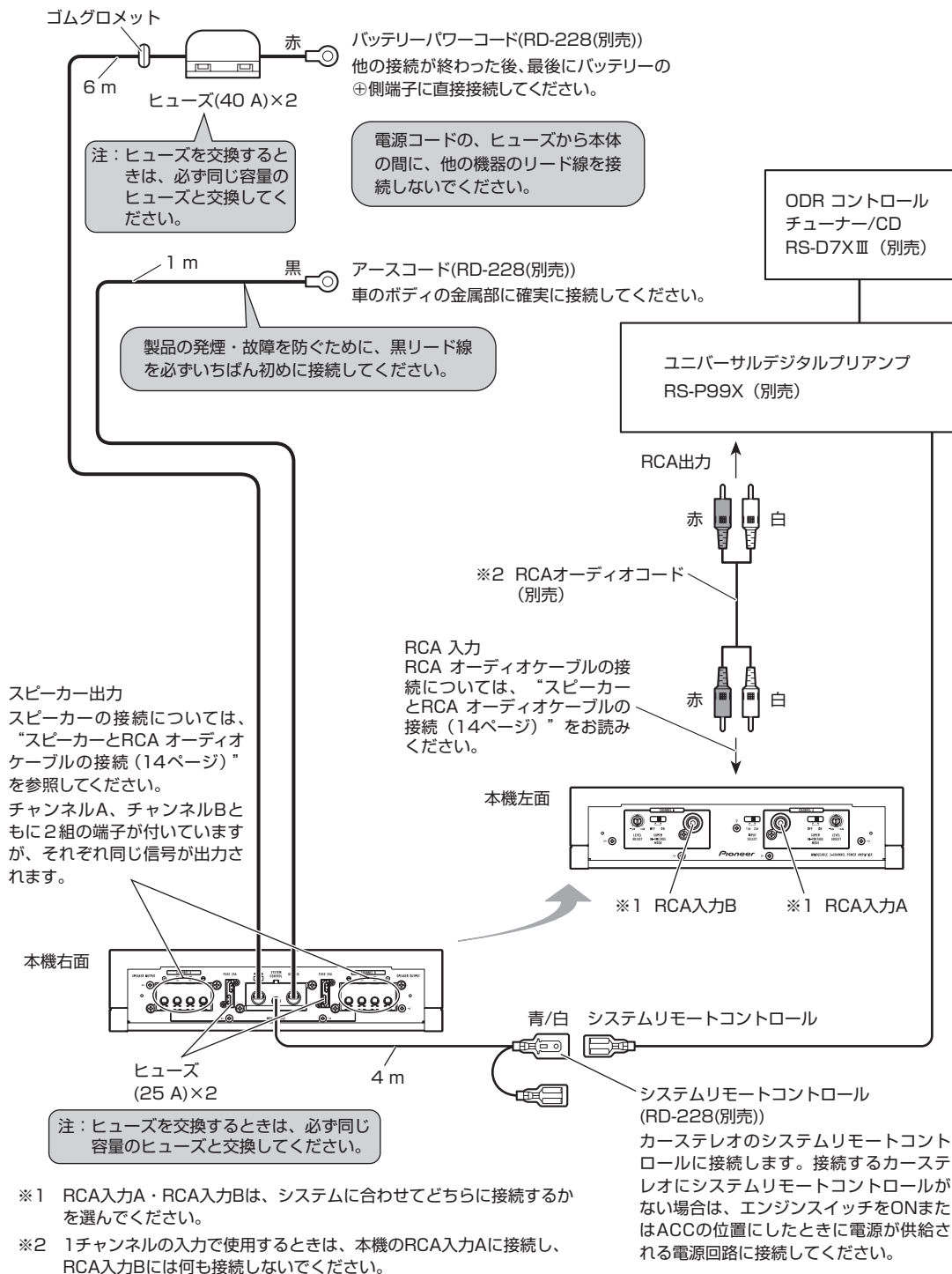
- ◆ 左右のスイッチは同じ位置に合わせてください。
- ◆ RS-P99X (別売) 以外と接続したときは、スイッチを OFF にしてください。ON にすると、音量が小さくなる場合があります。

## ④ 入力切り換えスイッチ

入力 A だけを使用する (1 チャンネルを入力する) ときは、スイッチを 1 CH に切り換えてください。入力 A・B 両方を使用する (2 チャンネルを入力する) ときは、スイッチを 2 CH に切り換えてください。

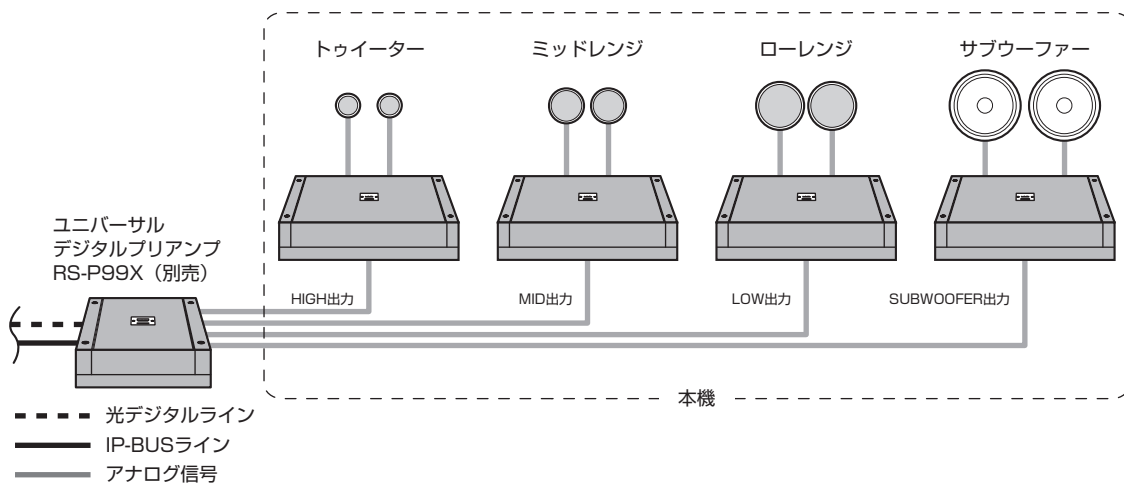
# 接続のしかた

## 接続図



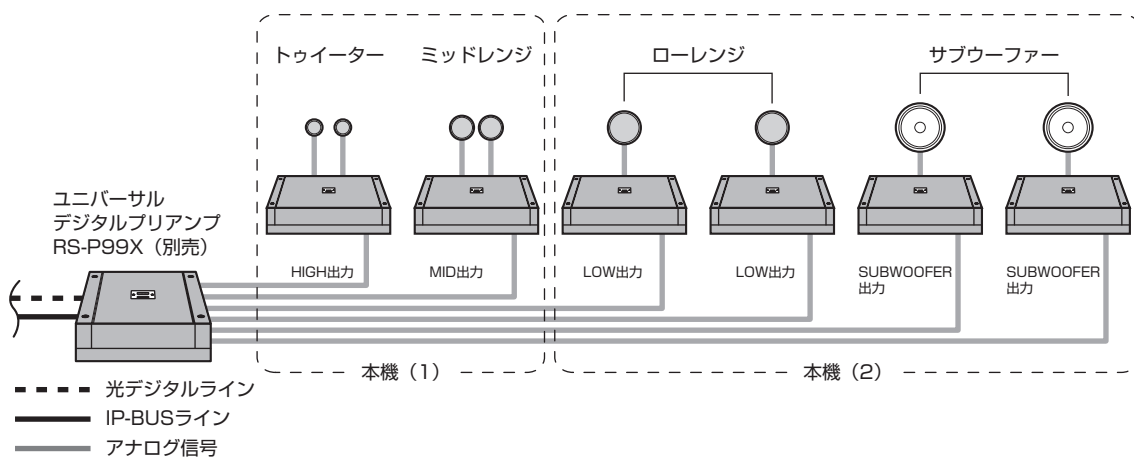
# システム構成例

## 【例 1】 4 アンプシステム



★このシステムの場合、本機は全て 2ch での接続になります。

## 【例 2】 6 アンプシステム



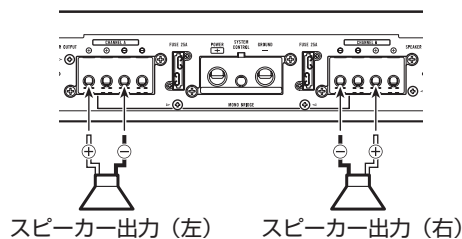
★このシステムの場合、本機 (1) は 2ch、本機 (2) は 1ch での接続になります。

次のページへつづく

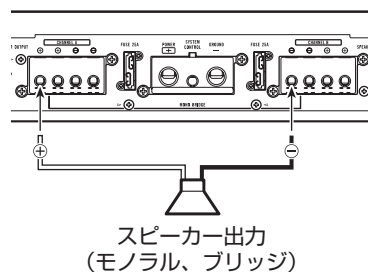
## スピーカーと RCA オーディオケーブルの接続

### ■ 2 チャンネル (ステレオ) 入力時の接続例

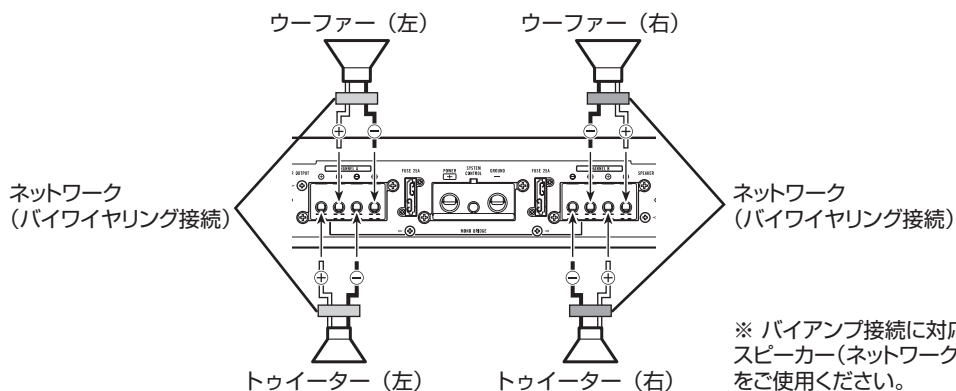
(A) スピーカーの接続：  
2つのスピーカーに接続する場合  
(左、右)



(B) スピーカーの接続：  
1つのスピーカーに接続する場合  
(ブリッジ接続)

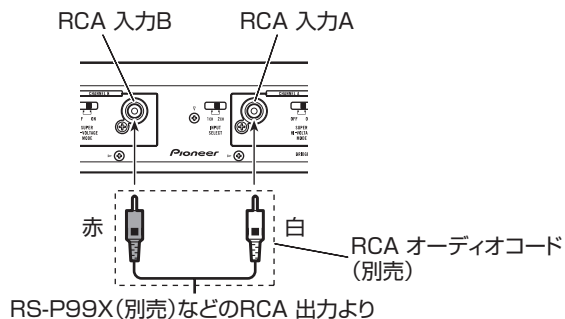


(C) スピーカーの接続：  
トゥイーターとウーファーに接続する場合 (左、右)



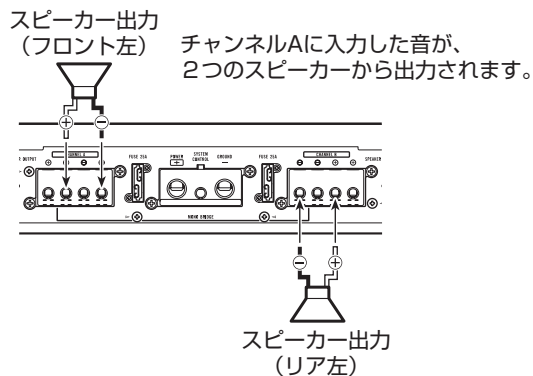
※ バイアンプ接続に対応した  
スピーカー(ネットワーク付属)  
をご使用ください。

### RCA オーディオケーブルの接続

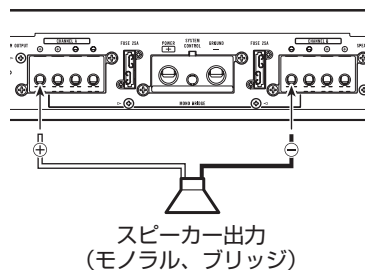


## ■ 1 チャンネル (モノラル) 入力時の接続例

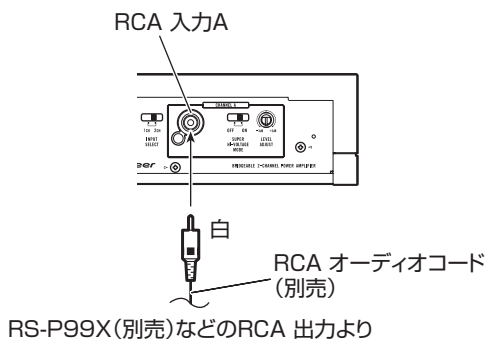
(A) スピーカーの接続：  
2つのスピーカーに接続する場合  
(フロント左、リア左)



(B) スピーカーの接続：  
1つのスピーカーに接続する場合  
(ブリッジ接続)



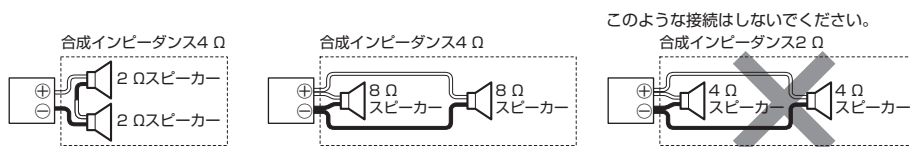
## RCA オーディオケーブルの接続



次のページへつづく

## ■ ブリッジ接続時のご注意

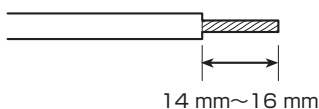
ブリッジ接続時にスピーカーを複数使用する場合は、発火・発煙・破損を防ぐために、合成インピーダンスが4Ωから8Ωになっていることを確認してください。



## ■ スピーカー出力端子の接続

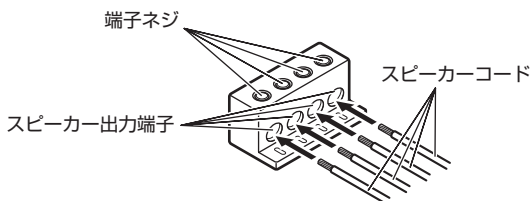
スピーカーコードは、太さが12AWG～18AWGのものを使用してください。

### 1 スピーカーコードの芯線をニッパやカッターなどで14mm～16mmくらいむき出します



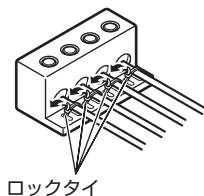
### 2 スピーカー出力端子にスピーカーコードを接続します

◆ 付属の六角レンチ（中）を使用して、端子ネジでしっかりと固定してください。



### 3 スリット部にロックタイを通して、コードに巻きつけます

ロックタイを巻きつける前に、コードの接続・取り付けに誤りがないか確認してください。  
ロックタイはむき出した芯線部分に巻きつけないでください。  
ロックタイの余った部分は切り取ってください。



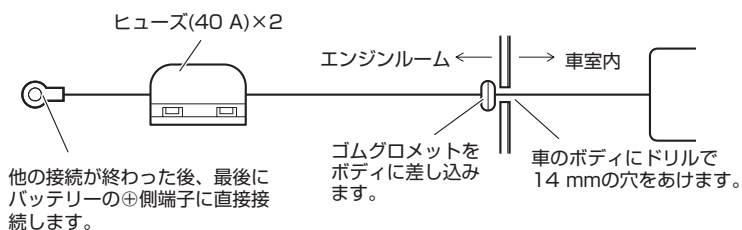


## 電源端子の接続

- ◆ 本機の電源は、必ず RD-228 (別売) のバッテリーパワーコード (赤) を使用して、車のバッテリーに直接接続してください。また、アースは RD-228 (別売) のアースコード (黒) を使用して、車のボディに接続してください。(RD-228 (別売) のバッテリーパワーコードとアースコードは、本機を完全に接続できるように設計されています。)

### 1 バッテリーパワーコードをエンジンルームから車室内へ通します

- ◆ ショート事故防止のため、バッテリーパワーコードのバッテリーへの接続は、他の接続が終了した後に行ってください。

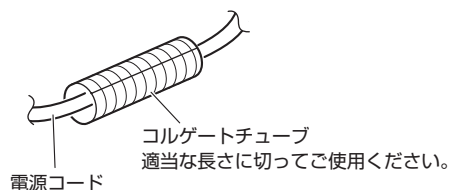
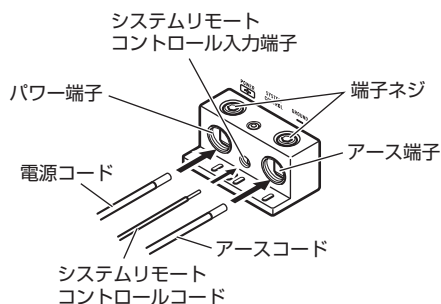


### 2 各端子にコードを接続します

- ◆ 付属の六角レンチを使用して、端子ネジでしっかりと固定してください。

パワー端子・アース端子：六角レンチ (大)

システムリモートコントロール入力端子：六角レンチ (中)



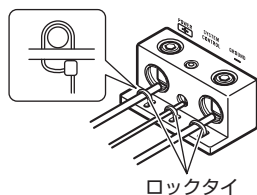
バッテリーなどの位置によって、高温となる場所にバッテリーパワーコードを配置しなくてはならない場合は、RD-228 (別売) に付属のコルゲートチューブでバッテリーパワーコードを保護してください。

### 3 スリット部にロックタイを通して、コードに巻きつけます

ロックタイを巻きつける前に、コードの接続・取り付けに誤りがないか確認してください。

ロックタイはむき出した芯線部分に巻きつけしないでください。

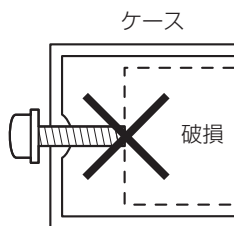
ロックタイの余った部分は切り取ってください。



## 取り付けかた

### 取り付け上のご注意

- ◆ 本機はトランクルームに取り付けてください。次のような場所には、絶対に取り付けないでください。
  - \* 急停車の場合に、運転者や同乗者に危険を与える可能性のある場所。
  - \* 運転席の足元のように、車の運転の妨げになる場所。
- ◆ 必ず本機および取り付けキットに付属の部品を指定通り使用してください。指定以外の部品を使用すると、機器内部の部品をいためたり、しっかりと固定できずに外れたりして危険です。



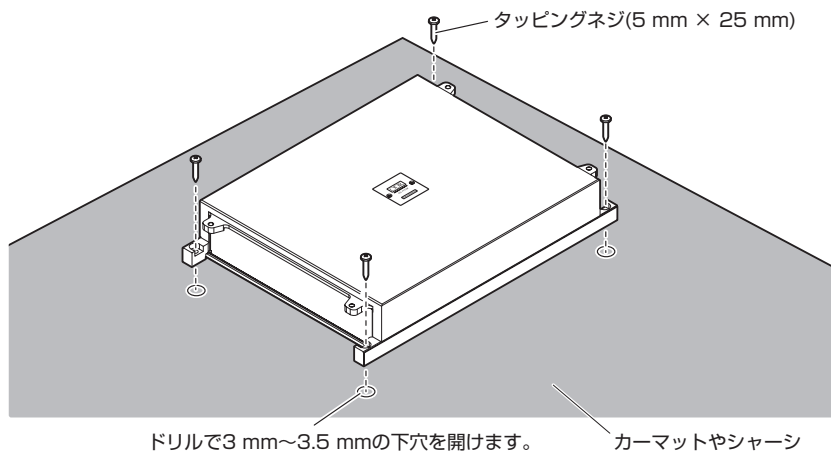
- ◆ 次のような場所には、絶対に取り付けないでください。高温により故障する恐れがあります。
  - \* カーペットやリアシートの下など、密閉された場所。
  - \* ヒーターの吹き出し口の近く。
- ◆ コード類はシートのスライド機構にはさまれてショートしないよう十分注意して配置してください。
- ◆ 本機を取り付ける際に車に穴をあける場合は、必ず裏側に何も無いことを確認してください。燃料パイプ、ブレーキパイプ、電源ハーネスなどの車の重要装備や、コード類を損傷しないように十分注意してください。
- ◆ タッピングネジで取り付ける際に、ネジの先端がコード類に触れないようにしてください。車の振動でコードを切断する恐れがあり、火災の危険性があります。
- ◆ 感電事故を防止するため、濡れやすい所には本機を取り付けないでください。
- ◆ スペアタイヤボードの上のような、不安定な場所には取り付けないでください。

### 取り付けのポイント

#### 取り付け、固定する前に

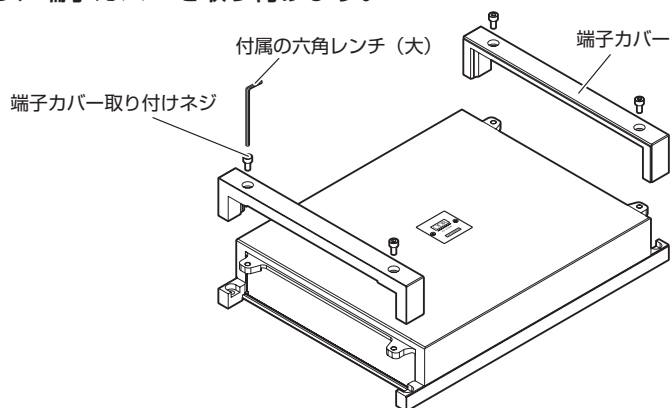
- ◆ まず仮接続を行い、本システムが正常に動作することを確認してください。動作しない場合は、接続・設定に誤りがないか、ヒューズは切れていないか、もう一度チェックしてください。
- ◆ 取り付けた状態でスペアタイヤ、ジャッキ、工具などが取り出せることを確認してください。

## 取り付け



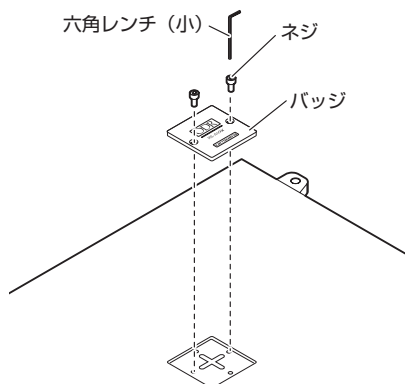
## 端子カバーの取り付け

ショート防止のため、端子カバーを取り付けます。



## バッジの向きの変更

取り付け・取り外しの際、ネジを紛失しないように注意してください。



---

## 故障かな？と思ったら

ちょっとした接続や設定のミスで故障と間違えることがあります。故障かな？と思ったらときは、次のことを行ってください。

- 1 接続・設定にミスがないかを、もう一度確認してください
- 2 接続・設定にミスがなかった場合は ……

“保証書とアフターサービス”の項（➡21 ページ）をお読みにになり、修理を依頼してください。  
分解したり、注油することはやめてください。

## 保証書とアフターサービス

### 保証書

保証書は、ご購入年月日、販売店名などが記入されていることをお確かめのうえ、ご購入の際に販売店より受け取ってください。保証書に記入もれがあったり、保証書を紛失したりすると、保証期間中でも保証が無効となります。記載内容をよくお読みのうえ、大切に保管してください。

### 保証期間

この製品の保証期間は、お買い上げの日より1年間です。

### 修理について

本機は持ち込み商品のため出張修理は承っておりません。引き取り修理サービスをご利用ください。（お車から取り外していただいた状態での引き取りとなります。また送料はお客様ご負担となります。）

#### 保証期間中の修理について

万一、故障が生じたときは、保証書に記載されている当社保証規定に基づき修理いたします。お買い上げの販売店または修理受付窓口にご連絡ください。連絡先については、本書の「修理窓口のご案内」をご覧ください。

#### 保証期間経過後の修理について

お買い上げの販売店または修理受付窓口にご相談ください。修理すれば使用できる製品については、ご希望により有料で修理いたします。

#### 車からの脱着（お取り外し・お取り付け）について

弊社修理拠点へのお持ち込みは、製品をお車から取り外した状態で、承ります。なお、修理の際の本製品のお車からの脱着サービスは弊社で承っておりません。お車からの脱着については、お買い上げの販売店や取り付け店へご相談ください。

### 補修用性能部品の最低保有期間

当社は、本機の補修用性能部品を、製造打ち切り後最低6年間保有しています。（性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。）

### ご質問、ご相談は

本機に関するご質問、ご相談はパイオニアカスタマーサポートセンターまたはお買い上げの販売店にお問い合わせください。

# 仕様

## 共通部

使用電源	14.4 V DC (10.8 V ~ 15.1 V 使用可能)
アース方式	マイナスアース方式
消費電流	(定格出力時、4 Ω) 24 A (無信号時) 3 A
平均消費電流	(4 Ω、2 ch) 6 A (4 Ω、1 ch) 11 A
ヒューズ	25 A × 2
外形寸法	258 (W) mm × 63 (H) mm × 360 (D) mm
質量	8.3 kg

## パワーアンプ部

最大出力 (14.4 V)	200 W (4 Ω、2 ch) 600 W (4 Ω、1 ch BRIDGE)
定格出力 (14.4 V)	100 W × 2 (4 Ω、20 Hz ~ 20 kHz、≤ 0.08 % THD) 300 W × 1 (4 Ω BRIDGE、20 Hz ~ 20 kHz、≤ 0.8 % THD) 150 W × 2 (2 Ω、20 Hz ~ 20 kHz、≤ 0.8 % THD)
負荷インピーダンス	4 Ω (2 Ω ~ 8 Ω 使用可能)
周波数特性	10 Hz ~ 100 kHz (-1 dB、0 dB)
S/N 比	109 dB (IHF-A ネットワーク)
高調波歪率	0.004 % (10 W、1 kHz)
セパレーション	92 dB (10 W、100 Hz ~ 10 kHz (20 kHz LPF))
スルーレート	100 V/μ sec.
ダンピングファクター	200
レベルアジャスト (ゲインコントロール)	± 3 dB (A/B 独立)
最大入力/定格入力	RCA : 10 V/2 V (スーパーハイボルテージモード ON 時) RCA : 5 V/1 V (スーパーハイボルテージモード OFF 時)
入力インピーダンス	5 kΩ (スーパーハイボルテージモード ON 時) 22 kΩ (スーパーハイボルテージモード OFF 時)



## 付属品

取付キット	1 式
六角レンチ (大)	1
六角レンチ (中)	1
六角レンチ (小)	1
取扱説明書	1
保証書	1

★上記の仕様および外観は予告なく変更することがあります。また、この説明書の中のイラストと実物が、一部異なる場合があります。



<各窓口へのお問い合わせ時のご注意>

「0120」で始まる  フリーコールおよび  フリーコールは、携帯電話・PHS一部のIP電話などからは、ご使用になれません。

また、【一般電話】は、携帯電話・PHS・IP電話などからご利用可能ですが、通話料がかかります。

正確なご相談対応のために折返しお電話をさせていただくことがございますので発信者番号の通知にご協力いただけますようお願いいたします。

### ご相談窓口のご案内 ※番号をよくお確かめの上でおかけいただけますようお願いいたします

パイオニア商品の修理・お取り扱い（取り付け・組み合わせなど）については、お買い求めの販売店様へお問い合わせください。

**商品についてのご相談窓口** ● 商品のご購入や取り扱い、故障かどうかのご相談窓口およびカタログのご請求について

#### カスタマーサポートセンター（全国共通フリーコール）

受付時間 月曜～金曜 9:30～18:00 土曜 9:30～12:00、13:00～17:00（日曜・祝日・弊社休業日は除く）

##### ■ カーオーディオ/カーナビゲーション商品

電話  **0120-944-111** 【一般電話】 **044-572-8101**

ファックス **044-572-8103**

インターネットホームページ <http://pioneer.jp/support/>

※商品についてよくあるお問い合わせ・お客様登録など

### 修理窓口のご案内 ※番号をよくお確かめの上でおかけいただけますようお願いいたします

修理をご依頼される場合は、取扱説明書の「故障かな?と思ったら」を一度ご覧になり、故障かどうかご確認ください。


それでも正常に動作しない場合は、① 型名、② ご購入日、③ 故障症状を具体的にご連絡ください。

**修理についてのご相談窓口** ● お買い求めの販売店に修理の依頼ができない場合

#### 修理受付窓口

受付時間 月曜～金曜 9:30～18:00 土曜 9:30～12:00、13:00～17:00（日曜・祝日・弊社休業日は除く）

ゴージャスオーディオ

電話  **0120-5-81028** 【一般電話】 **044-572-8100**

ファックス  **0120-5-81029**

インターネットホームページ <http://pioneer.jp/support/repair/>


※家庭用オーディオ/ビジュアル商品はインターネットによる修理のお申し込みを受付けております

**部品のご購入についてのご相談窓口** ● 部品（付属品・リモコン・取扱説明書など）のご購入について

#### 部品受注センター

受付時間 月曜～金曜 9:30～18:00 土曜 9:30～12:00、13:00～17:00（日曜・祝日・弊社休業日は除く）

電話  **0120-5-81095** 【一般電話】 **044-572-8107**

ファックス  **0120-5-81096**

記載内容は、予告なく変更させていただくことがありますので予めご了承ください。

VOL.047

パイオニア株式会社

〒212-0031

神奈川県川崎市幸区新小倉1番1号

©パイオニア株式会社 2013  
<KKMZ13I> <CRA4761-A>